



国府の歴史を探訪しています。(6年生)

6年生は、総合的な学習の時間の一環として、地域の歴史や伝統についての学習をしています。6月1日(火)と14日(月)に、国府史跡保存会の岩川 直美 会長さんにお越しいただき、国府の史跡や紀貫之の業績などについて、お話ししていただきました。さらに、28日(月)には比江地区のフィールドワークにも連れて行っていただきました。

日頃何気なく見たり、通ったりしている身近な場所が、どんな歴史を持っているのかを改めて学び、そして、そんなたくさんの大切な史跡のある国府小学校に通っているという自覚が持てたことと思います。その学習の発展として、6年生は史跡保存会主催の「探訪の旅」に参加して、学習を深めていきたいと思えます。(大湊、奈半利、室戸などの寄港地を訪ねます。)



「かかし」を作りました。(5年生)

5年生は、総合的な学習の時間の一環として、田植えや稲刈りなどの体験やお米作りについての学習をしています。

7月2日(金)に、自分たちが田植えをした田んぼに設置する「かかし」を作りました。設計図はかいていたものの、作っていくうちに、どんどんアイデアが生まれ、工夫する姿が見られました。教えてくださった地域の小松さん、西原さん、前田さん、島井さん、ありがとうございました。7月中旬には、田んぼに設置する予定です。



音読集会・・・全校児童で「土佐日記」の暗唱をしています。

6月29日(火)に、「土佐日記」の音読集会を行いました。本校では、昨年度から全校児童で少しずつ分担をして「土佐日記」の暗唱に挑戦しています。今回、1年生は聞くだけにしましたが、2年生以上の力強い音読に聞き入っていましたね。

6年生になると、毎年、お祭りなどで暗唱を披露しています。低学年の頃から土佐日記に親しむことで、自然に土佐日記が暗唱できるようになることを期待しています。

貫之さんにも国府小学校の子どもたちの声のとどいていることでしょうかね。



水泳の後、ぬれた廊下を拭いてくれてありがとう。

水泳の後、ぬれた廊下を一生懸命拭いてくれている人をよく見かけます。自ら進んでみんなのために動けるって素敵なことですね。

